

Minaと皆で“omotenashi” マナー生活!

第79回

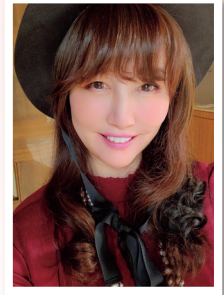
靴の脱ぎ方、揃え方

ながくぼ みな
長久保 美奈

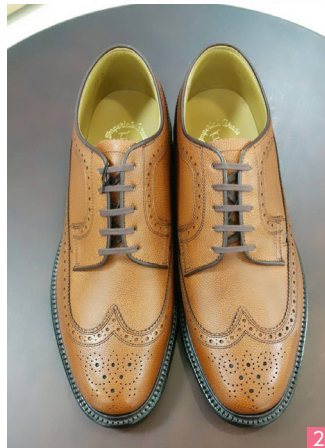
(有)ミナ・コーポレーション 代表取締役
& マナーコンサルタント

東北学院大学英文科卒。(株)JAL国際線で世界21カ国を乗務後、米ワシントンDCに居住。大使館関連のサークル等で国際基準のマナーを学ぶ。日本帰国後に仙台で起業し独自の視点でファーストクラスの接客術、マナーリングを確立。日本では法人企業、医療機関、大学等で年間260を超える講演や研修の講師としてトップレベルの接客を指導。2021 Mrs.Global.Earth 日本大会、世界大会 マナー・ディレクター。仙台市在住。

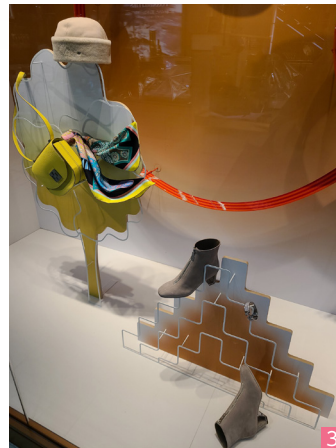
ホームページ www.mina-corp.com



1



2



3

- 1 こちらは靴を脱がずに一服。藤田喬平ガラス美術館(松島)。中の茶室には脱いで入ります
- 2 男性の紐靴は緩めて脱ぐ。フォルムの美しい老舗 Regal の靴
- 3 HERMES の今冬のディスプレイ。ブーツが転落しているのも一流のセンス(笑)

職場でもプライベートでも、日本の文化では家の中や室内に入る時に靴を脱ぐ場面がありますね。実は世界から見ると意外と珍しい習慣でもあります。どう脱ぐのがマナーとして正しいのでしょうか。

まず、玄関から部屋へ上がる時は必ず身体を正面に向けて入るのがマナーです。もし誰かが出迎えてくれる場面であれば、相手から離れた位置にある足から入るのが良いでしょう。靴は正面を向いて脱ぐのが正しいマナーです。相手にお尻を向けることになるので、後ろ向きには脱ぎません。脱いだ靴はそのままにせず向きを変えて揃え、後から来る人の邪魔にならない場所に寄せて置くと良いですね。一連のこの動作は男女とも素早く美しくできると素敵だと思います。

ではこの季節、ブーツだったらいかがでしょうか。なかなかスマートに脱ぐのは難しいですが、右のブーツは左手で、左のブーツは右手でファスナーを下ろし片足ずつスッと後ろにひくように脱ぐと綺麗です。ただ、目上の方のお宅にお邪魔する時は、私はブーツは履きません。玄関でモタモタするのが嫌なので、

寒い時は通常の靴にフットウォーマーのようなものを合わせてブーツのようにして履き、近くではずしてから伺うようにすると無作法にならずに済むという秘策を持っています(笑)。よろしければぜひお試しください。

さて、次にグローバルな視点で見てください。温泉のあるホテルで接客を指導することも多く、和室に海外のお客様をご案内するスタッフには必ず英語でも「ここで靴を脱いでください、これが日本のスタイルです」と言えるようにします。なぜならアメリカなど海外では、靴を人前で脱ぐこと自体がマナー違反になる国も多いからです。フットスロー*の回でも書きましたが、海外ではベッドでも寝る時以外は靴を脱がないことが多いので、なぜ今靴を脱いでと言われたのか、説明がないと理解できません。文化が違えばマナーも変わる。近日発売になるマナーのコラム本にはフットスローの話も含めて役立つ情報がいっぱいです! ぜひ手に取ってお読みください。

Mina

* Please take off your shoes here. This is Japanese style. (英語訳)

* フットスロー: ホテル等のベッドに掛けてある帯状の布のこと。海外では靴のままベッドでくつろぐことが多いので、横になったときに足の来る位置にあるのが普通。